

琴浦育兒院趣意書概要

- 1: 文書群番号 070001
- 2: 文書群名 琴浦育兒院趣意書
- 3: 出所 未詳
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名 兵庫県川辺郡別所村／尼崎市別所／尼崎市御園町ほか
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
- 7: 歴史
明治29年（1896）4月に伊勢壮一が尼崎町（現中在家町3丁目）に設立した孤兒收容施設の愛新舎を、尼崎で煉炭製造・売薬を営んでいた福島守三郎が同33年4月に引き継ぎ、琴浦育兒院と改称した。35年には同町内（現築地本町4丁目）、その後無住となっていた寺町の栖賢寺へと移転した。各地に賛助会員の寄付を募り、41年には2382人の多数にのぼっていた。福島死亡後は奥沢伸幸、大正5年（1916）以降は中馬興丸が後見人となったが、昭和6年～10年（1931～35）の間に廃止されたようである。
明治41年には院長以下職員17名で、男子49人、女子20人の孤兒を收容していた。
- 8: 伝来 昭和45年（1970）10月に古書店より購入。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 3点（目録件数3点）
- 11: 年代 明治後期
- 12: 構造と内容 琴浦育兒院の賛助会員を募るための趣意書2点と、10銭納付会員（藤田）の寄付金受領書1点からなる。栖賢寺移転後の明治30年代後半以降の史料である。請求番号1には桂太郎・伊藤忠兵衛・小森純一等の各界の著名人をはじめ東京市・大阪市・神戸市・尼ヶ崎町・兵庫県下郡部・京都市・和歌山県・香川県の560余の人名・会社名が賛助会員として記載されている。出所については未詳だが、会員である藤田家と推察される。
- 13: 関連史料 琴浦育兒院関係史料として「琴浦育兒院月報 第1号」がある。
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 近藤浩二